

第41期 棋王戦

予選特選譜 第2局

先▲五段 山本 真也

○全日本アマ名人

(43歳)

城間 春樹

(38歳)

消費時間 36分
持ち時間 24分

【第1譜】 (図は▲7七角まで)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香
	飛						歩	
歩		歩	歩	歩	歩			
	歩					歩		
			歩					
歩	歩	角	歩	歩	歩	歩	歩	歩
		銀					飛	
香	桂		金	玉	金	銀	桂	香

▲山本 なし

【指し図】 (図は○1二香まで)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
香	桂			王	銀	桂	香	
	歩	銀				歩		
歩		歩	歩	歩	歩			
	歩			歩	歩	歩		
		歩						
歩	歩	角	銀	歩	歩	歩	歩	歩
		飛		金		玉	銀	
香	桂			金			桂	香

○山本 なし

消費時間 36分
持ち時間 24分
(指し手24手)

- ▲7六歩 ○8四歩
- ▲7八銀1 ○3四歩
- ▲7七角 ○5二金右5
- ▲1六歩6 ○4四歩5
- ▲6六歩6 ○5四歩1
- ▲6七銀 ○6二銀
- ▲7八飛 ○4二玉
- ▲4八玉 ○3二玉
- ▲1五歩11 ○3三角2
- ▲3八銀2 ○2二玉6
- ▲7五歩1 ○4三金3
- ▲5八金左9 ○1二香2

アマ名人登場

昨年、沖縄から初めてアマ名人が誕生した。70年近い長い歴史を誇る全日本アマ名人戦。これまで、南国の地からは、アマ名人が生まれなかった。

初めて名前を刻んだのが城間アマ。元奨励会三段の強豪で実力は十分。いかにも南国育ちといった顔立ちで、Googleのような眼鏡が印象的。関西将棋会館を訪れたのは、三段リーグを戦っていたとき以来で約10年ぶりのことだった。山本は城間アマよりも年長。山本が四段に昇段したあと、城間アマは三段になったので、奨励会で対戦はなかった。

対局開始時間の10分前には両者ともに盤の前に座っていて、すぐに駒が並べられた。記録係の富田誠也三段(小林健一・九段門下)の振り駒は歩が3枚。山本は持参したコップで飲み物を口に運ぶ。防寒用にひざ掛けも用意して準備が整った。城間アマもペットボトルのお茶、缶コーヒーを並べている。

静かに対局は始まったが▲7七角(図)が珍しい。よくやるんですけどね」と、これは山本の専売特許のようだ。相手の出方によって居飛車、振り飛車、どちらにするか決めようという作戦。

城間アマも敏感に反応。どちらでこれられてもいいように慎重な駒組み。本譜は○4四歩が少し早いとみて、山本は三間飛車に構えた。城間アマは1筋の位を取られたこともあり、居飛車穴熊を目指す。

野間俊克

H 1 5 年 5 月 1 2 日 掲 載